



りりこ(トマト)

2年生が「トマトパーティー」のために育てているトマトが収穫時期を迎えて赤くおいしそうに実っています。スパゲッティのソースになる大切なトマト。おいしいこと間違いなしです。



音楽会～なぎさっ子の可能性は無限大～

なぎさの音楽会は、開校時、クリスマス音楽会と言われていましたが、今年は、暑い夏に行うことになりました。平日の開催にも関わらず、保護者の皆様をはじめ、たくさんの方がご参加くださいまして誠にありがとうございました。

4月から数えて4ヶ月足らず、練習は、みんなの心を1つに合わせるところから始まりました。歌声は、いわば、なぎさっ子の可能性へのチャレンジでもありました。

「主体的・対話的で深い学び」を目指して、6月に行われた公開研究会に続いて開催した音楽会でしたが、さらに、なぎさっ子の可能性に驚かされました。一人一人の想いを出し合い、いくつもの工夫をしながら、一つ一つ音に心寄せてつくってきた音楽、歌声でした。いつも良いものをめざして、練習そのものがすてきな時間となりました。



とりわけ、6年生は、音楽会の裏方となってみんなを支えてくれ頼もしい限りでした。音楽会が終わって日がたちましたが、今、まだ耳の奥に歌声が響いています。感動と喜びを分かち合える素敵な時間を持つことができましたことに心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

6年生代表の最後のあいさつでは、「練習していくうちにお互いの声を聴き合い歌えるようになった。」との感想を交え、先生や保護者の方にお礼を述べ結びの言葉としました。

7月の生活目標

- ふるえる心を発揮しよう(音楽会)
- 平和について、みんなで考えよう

伸びる表現力！！

音楽会を盛り上げることの1つに、舞台裏からの曲紹介や進行、あいさつ、児童代表による学年紹介などがあります。

まず、放送委員会では、1学期にプロのアナウンサーから指導を受けて毎日の校内放送に生かしていますから、舞台裏でのコメントも、早さ、口調の明確さなど優れた話し方ができ、感心します。舞台袖にたってあいさつや紹介をする学年代表は、それはそれは大変です。なぎさ公園小学校では、人前で話す時、できるだけ原稿を見ないことを基本にしていますから、長い紹介文になると、大変な時間をかけて練習をしたはずです。お見事と言わざるを得ませんでした。

家庭でも練習してくださったことと思います。感謝申し上げます。「明快にわかりやすく話すことは、才能の問題ではない。どれだけ練習するかにかかっている。」とは、『声に出して読みたい日本語』の著書で有名な齋藤孝明治大学教授の言葉です。これからも未来に必要とされる大切な力を磨いていきましょう。



